



2025 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤原 宏樹
 (コード番号 6573 グロース)
問合せ先 取締役 CFO 野口 敦司
 (TEL 03-6435-7130 (代表))

新たな事業(暗号資産投資事業)の開始及び暗号資産（ビットコイン）の購入に関するお知らせ

当社は、2025 年 4 月 9 日付「新たな事業（暗号資産投資事業）の検討にかかる暗号資産（ビットコイン）の試験的購入に関するお知らせ」にて公表の通り、同日開催の取締役会において、総額 10,000 千円の暗号資産（ビットコイン）を購入する旨を決議し、また同年 4 月 25 日付「新たな事業（暗号資産投資事業）の検討にかかる暗号資産（ビットコイン）の試験的購入に関するお知らせ」にて公表の通り、購入金額 10,000 千円相当のビットコインを購入いたしました。

このたび、上記の試験的購入の結果を踏まえて、暗号資産の投資運用を行う「暗号資産投資事業」（以下「本事業」と言います。）を開始し、同事業の一環としてビットコインの購入を行うことを本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 新たな事業を開始する背景

昨今、暗号資産はデジタル通貨としての認知が広がっており、特にビットコインは一部の国において法定通貨として採用されるなど、決済手段としての利用に加え、資産価値を有する存在として注目を集めております。金融市場においては短期的な価格変動が見られるものの、中長期的には成長を続けている状況です。

当社は、こうした暗号資産市場の動向を踏まえ、暗号資産（ビットコイン）に関する知見の獲得及び将来的な Web3 関連事業等、新規事業への応用可能性を検討する目的で、上記の通り試験的に 10,000 千円相当額のビットコインを購入し、実証を行いました。

●暗号資産(ビットコイン)の試験的購入とその経過

2025 年 4 月 25 日試験的購入における購入枚数・取得単価・購入金額

購入枚数	取得単価(1BTC)	購入金額
------	------------	------

0.72583046 BTC	13,777,322 円	10,000,000 円
----------------	--------------	--------------

2025 年 6 月 27 日現在の評価額

評価額	評価損益率
11,248,185 円	+12.48%

ビットコイン価格の上昇を受けて、当初投資に対するパフォーマンスは非常に堅調であり、短期間で 10%以上のリターンを確保しております。

また、2025 年 6 月 26 日付「資金使途変更に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2024 年 10 月 31 日付「第三者割当による第 11 回新株予約権、第 12 回新株予約権及び第 13 回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行並びに買取契約（第 13 回新株予約権につきコミット条項付）の締結に関するお知らせ」にて公表した第 11 回、第 12 回、第 13 回新株予約権(以下、「本新株予約権」と言います。)の資金使途を変更し、「⑤暗号資産の購入」として支出予定額を 500 百万円とすることを決定いたしました。

これは、暗号資産の運用を通じて得られる知見は当社の将来的な事業展開における意思決定の質を高めるとともに、デジタル資産を活用した新規事業モデルの構築に直結するものであること、また本新株予約権の資金使途のうち「④ M&A 及び新規事業投資」の投資先選択については長期的視点で検討を進めているため、調達した資金の一部が未充当となっていることを考慮したものです。

以上の決定により、本事業の資金面における効率及び機動性を確保することができました。

さらに暗号資産運用に関する社内の運用体制についても、外部アドバイザーからの支援を受けつつ、価格変動のモニタリングから購入・売却(ロスカット含む)等の機動的運用が可能な体制を確立することができました。ビットコイン市場価格の動向を鑑みて、ロスカットを含む実際の売却は行いませんでしたが、価格モニタリングから売却に至るまでのシミュレーションを実施して、体制確立が完了したと判断しました。

以上の結果を受けて当社は、当初検討項目として重点を置いていた、将来的な Web3 関連事業開発における暗号資産に関する知見・経験の獲得については引き続き継続しながら、これと並行して本日より暗号資産運用の事業化に踏み切ることを決定いたしました。当社は現在、主力事業であるアンバサダー事業に加え、製造販売業、EC による小売業、エンターテインメント、旅行、消費財等の分野において、事業の多角化を積極的に推進しております。

本事業は、当社のこうした事業領域拡大の一環として位置づけており、将来的には主力事業の一つとして育成していく方針です。今後も、持続的な成長と企業価値の向上を目指し、事業展開を進めてまいります。

2. 新たな事業（暗号資産投資事業）の内容等

本事業では、ビットコイン等の暗号資産の活用による資産運用を行います。

基本的に長期保有を前提として、保有資産の価値向上から、将来的な売却益の確保を目指します。当初においてはビットコインを購入し、運用に当たってはリスク管理を徹底することで安定的な運用を目指します。

具体的には、実証期間における運用方針を継続し、外部アドバイザーの他、社内の意見も踏まえ、投資のタイミングやその際の投資金額を決定し購入をいたします。購入後は、日々値動きをチェック・報告を行い、急激な価格変動等があった場合には、外部アドバイザーを交えたミーティングにより今後の対応を確認してまいります。

また、リスク管理の観点から損失は社内で判断したロスカットルールにより投資金額の 30%までとし、そのルールに抵触した際には撤退をいたします。

3. 暗号資産(ビットコイン)の購入について

本事業の開始にあたり、2025 年 6 月 26 日付「資金使途変更に関するお知らせ」にて公表の通り、最大で 500 百万円相当額の暗号資産（ビットコイン）を購入することを決定いたしました。

(1) 購入する暗号資産：暗号資産 1 銘柄（ビットコイン）

(2) 購入金額：500 百万円

(3) 購入期間：2025 年 7 月から 2029 年 10 月

引き続き外部アドバイザーの他、社内の意見も踏まえ、投資のタイミングやその際の投資金額を決定し購入をいたします。購入後は、日々値動きをチェック・報告を行い、急激な価格変動等があった場合には、外部アドバイザーを交えたミーティングにより今後の対応を確認してまいります。アドバイザー費用は月額 150 千円の契約となっており、この費用については自己資金を充当いたします。

またリスク管理の観点から、投資による損失は社内で判断したロスカットルールにより、投資金額の 30%までとし、そのルールに抵触した際には購入分の売却を行います。

なお、ビットコインを売却した後の資金の使途につきましては、2025 年 6 月 26 日付「資金使途変更に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、④M&A 及び新規事業投資に充当することを予定しております。

4. 新たな事業のために特別に支出する予定額の合計額

本事業の立ち上げに必要な支出については、上記の通り暗号資産購入のための費用として、約 500 百万円を見込んでおります。このうち初年度となる 2025 年 12 月期における支出については最大で約 100 百万円を見込んでおります。

また上記 500 百万円については第 11 回新株予約権、第 12 回新株予約権及び第 13 回新株予約権（2024 年 10 月 31 日付「第三者割当による第 11 回新株予約権、第 12 回新株予約権及び第 13 回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行並びに買取契約（第 13 回新株予約権につきコミット条項付）の締結に関するお知らせ」参照）により調達した資金（銀行口座にて管理しております）を資金調達の使用使途「⑤ 暗号資産の購入（500 百万円）」より充当いたします。

なお、上記の資金使途については 2025 年 6 月 26 日付「資金使途変更のお知らせ」にて公表しましたとおり、同日付で変更となっております。

5. 日程

①取締役会決議日 2025 年 6 月 30 日

②新規事業開始日 2025 年 6 月 30 日

6. 今後の見通し

今回の事業開始に伴い購入する暗号資産につきましては、四半期ごとに時価評価を行い、その評価損益を損益計算書に計上いたします。今後、連結業績に影響が生じる場合には、速やかに開示いたします。

以上